

	案件名	新規/継続	対象国	カウンターパート	派遣期間	1:目標 2:成果
1	インドネシア環境技術遵守(産業排水)・改善協力プログラム(ゴム産業環境管理体制構築支援)	継続(18年度~20年度)	インドネシア	インドネシア・ゴム協会(GAPKINDO)	①08年10月18日~11月14日(1名) ②09年1月3日~2月1日(1名)	1.平成18年度から平成20年度の3年間で公害防止管理者として必要な知識とゴム産業独特の公害防止知識についてゴム協会およびゴム産業界の技術者に対して講義と実習を行い、ゴム産業界に公害防止管理者を育成する。公害防止管理者の育成とともに、3年にわたって行われる講習の内容を現地技術者が中心となりEPCM育成用のテキストを作成するための指導を行う。平成20年度末にはテキストの1部、2部を印刷、3部、4部の最終原稿を完成させることを目標とする。 2.第1回派遣でスマトラ地域、第2回にカリマンタン地域での指導を実施し、環境関連法令、騒音、排ガス処理、有害物質処理、汚泥処理など残りの10章を講義・実習し公害防止管理者(EPCM)人材育成を実施した。また、EPCM育成用テキストの作成支援を実施した。
2	タイLCA&エコデザイン推進体制基盤構築支援	継続(20~22年度)	タイ	タイ環境研究所(Thai Environment Institute:TEI)、国立金属材料研究所(National Metal and Materials Technology:MTEC)	①08年7月2日~7月5日(1名) ②08年9月15日~9月18日(1名) ③09年1月13日~1月17日(1名) ④09年2月11日~2月14日(1名)	1.平成22年度までにLCAの産業界での実施、普及を行うとともに、日本のエコリーフを試行することにより、環境配慮型製品の開発、普及を定着させる。また、タイ主導でASEANエコLCAネットワークを立ち上げることを目標とする。 2.平成19年度までに構築したLCIナショナルデータベースを活用した産業界のLCA試行、我が国のエコラベル・タイプⅢであるエコリーフの試行に先立つ啓蒙と導入の基礎検討、ASEANエコLCAネットワークの構築を目指したASEAN内への啓蒙を目指し、関連団体・産業界・企業等の中心人物に対する教育指導と実施計画の策定、試行等に力点を置いた。 ①LCIナショナルデータベースを活用した産業界でのLCA実施を指導するとともに、塗装、ガラス、セラミック、交通等の産業界に対する、LCI等のデータ収集、データベースの構築を指導した。 ②日本のエコラベル・タイプⅢ(エコリーフ)の試行とカーボンラベルの検討を指導した。
3	タイ省エネルギー普及推進体制構築支援	継続(18~20年度)	タイ	タイ工業連盟産業エネルギー協会(The Federation of Thai Industry. Institute of Energy)	①08年6月18日~6月28日(3名) ②08年8月25日~9月6日(3名) ③09年2月15日~2月28日(3名)	1.タイの中小企業に対する省エネ活動の実践指導を中心として、省エネ診断の技術移転を行って、省エネに係る技術者の育成を行うとともに省エネを推進するためのネットワーク化を推進することにより、タイ側で自主的に省エネ活動が推進できるような基盤(体制、仕組み)の構築を図ることとする。 具体的には、①タイの中小企業に対する省エネ活動の実践指導を行って省エネルギーの実現を図るトレーナー・バンクのFTI/IE内への設立の支援 ②トレーナー・バンクに登録して中小企業を診断するタイ人トレーナー(専門家)の育成 ③トレーナーが効果的・効率的に省エネ診断を行うのを助ける省エネ診断マニュアルの作成の支援、を中小企業のエネルギー使用が多くタイの重要産業である食品工業と繊維工業のモデル工場をJETRO専門家が省エネ診断することにより、OJTで上記を達成することを目標とする。 2.前年度に実施したモデル工場以外に新たにモデル工場(食品2工場、セメント2工場)を選定、タイ診断チームが独自に診断を実施したことで同チームの診断能力が飛躍的に向上した。また、トレーナーバンクシステムが正式にスタートし、また食品と繊維を対象とした診断マニュアルが完成した。

4	IV 省エネ・環境 (8件)	マレーシア省エネガイドライン構築支援	継続(18~20年度)	マレーシア	マレーシア・エネルギー・センター (PUSAT TENAGA MALAYSIA: PTM)	①08年8月4日~8月13日(1名)、 8月5日~8月13日(2名) ②08年11月23日~11月29日(3名) ③09年2月8日~2月14日(3名)、うち1名は13日まで	1.最終年度目標:電気エネルギー使用機器省エネガイドライン完成、熱エネルギー使用機器省エネガイドラインの最終原稿の完成を目標とする。 2. ①平成20年度は3回、各1週間の専門家派遣を実施、熱エネルギー使用機器省エネガイドラインの原稿を完成させるための指導を行った。②第1回専門家派遣において昨年度より実施中の電気エネルギー使用機器の省エネガイドライン工場検証の最終確認と指導を実施した。③12月より熱エネルギー使用機器の省エネガイドラインの工場での試用・検証を行うための指導をした。 ④11月のマレーシア・省エネ月間に合わせて省エネ普及セミナーを開催し、3専門家が省エネ活動普及のための講演を行い普及活動に寄与した。
5		マレーシアLCA制度構築支援	新規(20~22年度)	マレーシア	マレーシア標準工業研究所(SIRIM Berhad)	①08年8月17日~8月23日(1名) ②08年11月2日~11月29日(1名) ③09年2月1日~2月6日(4名)、うち1名は5日まで	1.①LCIデータベースの整備、クリティカルレビューが可能なLCA研究者の養成、②マレーシア版ISOタイプIII環境ラベルの開発・運用またはエコリーフ環境ラベル制度の導入、③LCAを産業界中心に広く普及させることを目標とする。 2. ①ISOタイプIII環境ラベル・エコリーフに関するケーススタディとマレーシア版の作成指導 ISOタイプIII環境ラベルの開発支援として今年度はエコリーフ環境ラベルのプログラムをCPIに解説し、マレーシア製品でのエコリーフ環境ラベル取得の作業が開始できるように指導。 ②SIRIM研究者/産業界代表によるLCI原単位開発プロジェクトが開発したデータの検証を行いマレーシア製LCI原単位データの信頼性向上を指導。 ③検証指導を通じてSIRIM研究者のLCAに関する技術力を更に高める為の指導。
6		フィリピン「省エネルギー制度導入協力プログラム」(セメント産業)	新規	フィリピン	フィリピンセメント工業会(CEMAP)、鋳物工業会(PMAI)	08年11月3日~11月15日(3名)	1.鋳物業界が作成する省エネ診断ガイドブックを基に他産業でも横断的に使える省エネ診断ガイドブックを作成し、それをフィリピンセメント工業会(CEMAP)において活用することにより、同業界内におけるエネルギー管理制度の立ち上げ・定着させ、自主的なエネルギー管理が実施できる体制を整えることを目標としている。 2.鋳物産業での指導内容をベースとした業種横断的に活用可能な省エネ診断ガイドブック(Version1)の作成指導、及びCEMAPを対象としたエネルギー管理制度の確立のための体制指導を行った。次のステップに進むため、CEMAPとしての省エネプロジェクトを推進する際の体制案・人材育成の体制案を求めたが、CEMAP内の調整に時間がかかったため、ロードマップ上の目標のうちセメント産業における専門家育成指導用/パイロット工場の選定、セミナー開催による(CEMAP会員企業の)経営層への省エネ意識の普及を達成するための専門家派遣は次年度以降に延期することとなった。

7		ベトナムハノイ地区の産業廃棄物処理体制の強化	継続(18~20年度)	ベトナム	ベトナム都市環境協会 Vietnam Urban Environment Association(VUREA) (新: Vietnam Urban Environment and Industry Association (VUREIA) ベトナム都市環境・産業協会)	①08年7月20日~7月30日(4名。うち1名は7月24日まで)、7月21日~7月24日(1名) ②08年10月26日~11月6日(2名)、10月28日~11月2日(1名)、10月26日~30日(2名) ③09年2月15日~20日(4名。うち1名は19日まで)	1.廃棄物データの管理・ハンドリング手法の指導によるデータ化手法の確立、適正処理システム構築、最終処分場整備、処理業運営管理に関する指導を通じたハノイ地区の産業廃棄物処理体制の強化を達成し、ベトナム側の要請に応えるとともに、日系企業の不安軽減に向けた基盤を作ることを目標とする。 2. ①特定工業団地での産廃の排出量統計処理・分析の指導、汚泥のセメント原料化委員会指導、および処理業コスト管理法指導 ②データ化等の作業状況のフォロー、汚泥のセメント原料化委員会指導、処分場浸出水処理技術指導および処理業運営管理法指導 ③これまでの指導内容を集約した指導、汚泥のセメント原料化委員会指導、処分場計画手法、等の指導、および事業成果セミナー
8		中国セメント産業の省エネ・環境管理能力向上支援	継続(19~21年度)	中国	中国セメント協会・中国建築材料科学研究総院	08年11月18日~11月21日(2名)	1.中国のセメント業界に対し、CO2プロトコルの普及啓蒙及びモデル工場への省エネ診断を通じてCO2プロトコルの活用方法の指導を行う。 2.中国セメント協会、中国建築材料協会等に対して、CO2プロトコルの構成、入力方法、活用方法等について技術的な指導や育成を行うとともに、昨年度に指導した研修生にトレーナーとしての指導を行った。